

平成 25 年度
環境保全レポート
(CES 報告書)



平成 25 年 9 月 30 日作成

ジェイエイ北九州くみあい飼料 株式会社

目 次

I. 組織の概要	2
II. 環境方針	6
III. 環境保全の対象範囲と対象期間	7
IV. 環境保全組織	7
V. 環境保全の取扱項目と目標	9
VI. 環境保全活動の実績	10
VII. 環境保全活動の内容	12
VIII. 環境保全の取組の評価と次年度の取組目標	18
IX. 代表者による総合評価と見直し	22

I. 組織の概要

- 【名称】 ジェイエイ北九州くみあい飼料株式会社
- 【代表者】 代表取締役社長 八幡 憲一郎
- 【設立年月日】 昭和42年7月
(地域別飼料会社として発足、平成14年4月)
- 【本社所在地】 〒810-0071 福岡市中央区那の津5丁目3番1号
TEL 092-738-0100 FAX 092-738-0115
- 【資本金】 20億円
- 【株主および
出資比率】 全国農業協同組合連合会 79.71%
熊本県経済農業協同組合連合会 17.40%
佐賀県農業協同組合 2.89%
- 【事業内容】 ①飼料の製造および販売
②肥料の製造および販売
③動物用医薬品の販売
④農畜産物の加工、販売、家畜の取引
⑤家畜・家禽類の飼育および生産に関する研究
⑥畜産用機器・資材の販売
⑦貨物利用運送業事業法による利用運送業
⑧倉庫業
⑨家畜の診療
⑩前各号に付帯関連する一切の事業
- 【年間売上高】 425億円(平成24年度実績)
売上数量
配合飼料 818,532トン
単味飼料 81,760トン
- 【従業員数】 194名(平成25年4月1日現在)
- 【ホームページ】 <http://www.jakks.jp/>

【本社・工場・支店の名称および所在地】



本 社

〒810-0071 福岡市中央区那の津5丁目3番1号

TEL 092-738-0100 FAX 092-738-0115

福岡工場

〒810-0071 福岡市中央区那の津5丁目2番24号

TEL. 092-771-9241 FAX. 092-771-8990

長崎工場

〒857-0852 佐世保市干尽町36番地

TEL. 0956-32-1245 FAX. 0956-32-7577

熊本工場

〒866-0034 八代市新港町1丁目11番地

TEL. 0965-37-1166 FAX. 0965-37-1624

大分工場

〒879-1505 日出町大字川崎字浜田5969番地の10

TEL. 0977-72-2224 FAX. 0977-72-7189

東部支店

〒810-0071 福岡市中央区那の津5丁目3番1号

TEL. 092-734-5012 FAX. 092-734-5028

東部支店山口営業部

〒747-1232 防府市大字台道字西津々路越442番地8

TEL. 0835-32-2567 FAX. 0835-32-2479

東部支店福岡営業部

〒810-0071 福岡市中央区那の津5丁目3番1号

TEL. 092-725-1406 FAX. 092-734-5028

東部支店大分営業部

〒870-0844 大分市古国府1220番地

TEL. 097-544-0138 FAX. 097-545-1847

長崎支店

〒850-0862 長崎市出島町1番20号

TEL. 095-820-2188 FAX. 095-823-5160

【経営理念】

生産者と消費者に奉仕する心で、
配合飼料のコスト低減・品質向上・営農サービスを実践し、
地産地消の販売強化と地域農家と連携した環境保全に取り組み、
安全・安心を提供します。

【経営方針】

1. 生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋となることを使命とし、畜産農家と消費者から信頼される事業の確立に努めます。
2. 地域に密着した飼料会社として地域農畜産業の振興に参画し、効率的生産体制確立に協力し、生産基盤強化と畜産農家の支援に努めます。
3. 配合飼料の品質向上、クレームゼロに取り組み、商品の安全性向上と労働安全向上に向け職場環境改善に取り組みます。
4. コンサルタント営業を実践し、営農サービスの充実に努めます。
5. 消費者へ安全・安心な畜産物を提供するため、全農グループ販売部門との連携強化に加え、地域に根ざした地産地消の販売に取り組みます。
6. 地球の環境保全を考慮した地域貢献活動の取り組みを積極的に行います。

Ⅱ．環境方針

【環境活動方針】

当社は、配合飼料の製造と販売を業務としています。

当社の事業活動及びサービスが環境に与える影響を考慮し、業務を通じた環境保全活動に取り組むため、活動方針、目標を定め、定期的に見直すとともに、環境マネジメントシステムと活動の継続的な改善及び汚染の防止に努める。

1. 遵守義務が課された環境関連法令、条例、及び当社が同意したその他の法令、協定、畜産業界申し合わせなどを遵守します。
2. 事業活動にあたり、本来の業務の中での取り組みを心掛け、省エネルギー、省資源、再資源化に努めます。
3. 製品やサービスの質を高め、お客様が使用する資源の削減に努めます。
4. 地球環境保全に考慮した取り組みを積極的に行い、地域耕種農家とも連携し、社会貢献活動を進めます。
5. 当社で働く役員を含めて全員に方針を周知し、方針に沿った事業活動を行います。
6. 環境活動方針や活動レポートを社内外に公表し、社会とのコミュニケーションを大切にします。

平成25年4月1日 制定

ジェイエイ北九州くみあい飼料株式会社

代表取締役社長 八幡 憲一郎

Ⅲ. 環境保全の対象範囲と対象期間

1. 環境保全の対象範囲

- 全事業所・全組織

本社、福岡工場、長崎工場、熊本工場、大分工場、東部支店、東部支店山口営業部、東部支店福岡営業部、東部支店大分営業部、長崎支店

2. 環境保全の対象期間

平成25年5月1日～平成25年7月31日まで活動を実施し、環境保全レポートを作成した。

Ⅳ. 環境保全組織

1. 環境保全活動推進体制

名称／省エネ委員会	対象者	役割	活動詳細
環境保全総責任者 (EGM)／推進委員長	代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> ・模範となる環境保全活動の推進 ・経営戦略会議及び社長賞での各部署の評価 ・活動の総合評価 	
実行責任者 (PM)／推進委員	常務、本社部長、工場長、支店長、山口営業部長、大分営業部長 ※2.部署別推進体制表参照	<ul style="list-style-type: none"> ・模範となる環境保全活動の推進 ・情報共有と活動の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略会議での活動報告／月1回 ・経営戦略会議各部署発表資料を全課員へ回覧

名称／省エネ委員会	対象者	役割	活動詳細
保全担当者（PP）／ 省エネルギー推進員	各部署長より 任命された者 ※2.部署別推 進体制表参照	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全活動の積極的推進 ・環境保全会議の実施 ・自部署の活動内容の取りまとめ ・情報共有と活動の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務部製造課への数値報告／月1回 ・経営戦略会議への報告準備 ・経営戦略会議での各部署発表内容や自部署の評価を部署内にフィードバック
実施者	全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・工場及び事業所での環境保全活動の実施 	
事務局	管理部	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信及び普及啓蒙 ・環境保全活動全体の取りまとめ、進捗確認等 	<ul style="list-style-type: none"> ・デスクネット等を利用した環境保全活動全体に関する情報発信 ・ポスターの掲示 ・保全担当者会議の開催／四半期に1回 ・環境保全レポートの作成（定性情報の取りまとめ）
	業務部 製造課	<ul style="list-style-type: none"> ・数値の取りまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全レポートの作成（定量情報の取りまとめ）

2. 部署別推進体制（H25.5.1）

部署	実行責任者（PM）	保全担当者（PP）
品質安全部	安部部長	占部
管理部	早川部長	久保田 吉田
業務部	岩尾部長	松村 井上 森
営業1部	佐藤部長	藤田
営業2部	佐野統括	平野
福岡工場	岩永工場長	砥綿
長崎工場	毛利工場長	坂口
熊本工場	隅川工場長	長廣
大分工場	西村工場長	福田
東部支店・福岡営業部	福島支店長	石谷
東部支店・山口営業部 （山口 SP）	栗本部長	山田
東部支店・大分営業部	神志那部長	吉田
長崎支店	中西支店長	伊藤

V. 環境保全の取組項目と目標

1. 環境保全の取組項目

- （1）エネルギー（電力、重油、ガス、ガソリン）の削減
- （2）廃棄物排出量の削減、分別の徹底、再使用・再利用率の向上、適正処理
- （3）水使用量の削減
- （4）地域貢献活動の推進

2. 取組項目の期間中の目標

環境保全を開始し、平成25年度の実績を基に目標を設定する。

VI. 環境保全の実績 <平成 25 年 5 月～平成 25 年 7 月>

1. エネルギー使用量と二酸化炭素排出量への取組

	(A)前年実績値 H24.5月～H24.7月		(B)活動期間実績値 H25.5月～H25.7月		(B-A)増減量		前年比
	使用量	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	B/A 増減率 (%)
電気使用量 (千 kWh)	3,672	1,928	3,787	1,989	115	61	103.2
燃料使用量 (軽油,重油,ガス) (kL)	695	1,867	529	1,399	-166	-468	74.9
自動車 ガソリン(kL)	23	53	16	37	-7	-16	69.8
合 計	4,390	3,848	4,332	3,425	-58	-423	89.0

2. 廃棄物の発生量、再使用量、再資源化量
事務所からの廃棄物

単位：kg

廃棄物等種類		発生量	再使用量	再資源化量	処分量	再資源化率
		(イ)	(ロ)	(ハ)	(イ-ロ-ハ=ニ)	(ロ+ハ/イ×100%)
可燃ごみ	一般ごみ	3,463.90	—	—	3,463.90	0
不燃ごみ	アルミ・スチール缶	394.60	—	303.83	90.83	77.0
	瓶	161.21	—	86.09	75.12	53.0
資源ごみ	シュレッダー紙ごみ	791.69	—	510.32	281.37	64.0
	新聞	283.70	—	111.36	172.34	39.0
	段ボール	1,218.13	—	182.85	1035.28	15.0
	ペットボトル	232.75	—	168.41	64.34	72.0
合計		6,545.98	—	1,362.86	5,183.12	21.0

3. 水使用量

単位：m³

	(A)前年実績値 H24.5月～H24.7月	(B)活動期間実績値 H25.5月～H25.7月	(A-B)増減量	前年比(%)
上水使用量(m ³)	6,165	5,949	216	96.0
工業用水 (m ³)	3,539	2,965	574	84.0
合計	9,704	8,914	790	92.0

※熊本工場のみ、工業用水使用。

VII. 環境保全活動の内容

1. 活動計画

環境活動項目	計画の内容	推進責任者	H25.			
			5月	6月	7月	8月
普及・啓蒙	環境保全推進ポスターの掲示	実行責任者	○	○	○	○
エネルギーの削減	照明の個別スイッチ取付けによる不要	各事業所	○	○	○	○
	照明の昼休み消灯	保全担当者	○	○	○	○
	空調の設定温度調整 (室温 28℃)	保全担当者	○	○	○	○
	エコドライブコンテスト実施	管理部	○	○		
	営業車の燃費算出	各事業所	○	○	○	○
廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別計量の実施	保全担当者	○	○	○	○
	廃棄物のリサイクル推進	実行責任者		○	○	○
	裏紙使用の推進	各事業所	○	○	○	○
地域貢献活動	各部署の地域清掃活動への参加	各事業所		○	○	○
省エネの取組み	電力ピークカット	各工場			○	○
	契約電力の見直し		○	○		
	蒸気漏れの早期改善		○	○	○	○

環境保全活動の普及・啓蒙のため、掲示した環境保全推進ポスター



2. 環境保全に必要な教育の実施

全社員研修会において、環境保全に対する講演会およびDVD研修を実施した。

(1) 講演会

開催日：平成25年3月16日

講演：「環境保全・地域貢献活動について」

講師：(一社)日本経営士会 環境社会創出委員会

経営士・環境経営士 森 裕子 氏



活動に対する具体的取組みやポイント・要望についてアンケート調査を実施し、「飼料会社であり製造・配送において臭い、騒音、通交等で近隣と協調していく必要がある」という意見や、「自社の理念の実践」、「100年企業を目指すのなら、自社だけ良ければという考えでは続いていかない」など、活動を積極的に推進していく意識が多数のアンケート結果から窺えた。

(2) DVD研修

テーマ：「エコドライブ10のすすめ」

- | | |
|------------------|-------------------|
| ①ふんわりアクセル「eスタート」 | ⑥暖機運転は適切に |
| ②加減速の少ない運転 | ⑦道路交通情報の活用 |
| ③早めのアクセルオフ | ⑧タイヤの空気圧をこまめにチェック |
| ④エアコンの使用を控えめに | ⑨不要な荷物は積まずに走行 |
| ⑤アイドリングストップ | ⑩駐車場所に注意 |

(3) 4月下旬から5月上旬に各事業所において環境問題啓発DVD研修を実施し、環境保全に対する意識向上を図った。

テーマ：「環境～意識を変える・未来が変わる」

- ①地球環境問題、特に大気汚染の歴史や現状、地球温暖化の原因
- ②これらの問題を解決しようとしている国や自治体の取り組みや市民レベルでの活動
- ③地球環境を守るためには一人一人の意識改革が必要であること



3. 営業車ガソリンの削減

エコドライブコンテストの実施

【主旨】

今年4月から実施するコンパクトエコシステム（CES）の導入による環境保全活動の一環として、社有車運転の際、エコドライブを実践し、燃費の改善率を競うコンテストを開催した。

エコドライブにより、①ゆとりある運転による交通事故防止、②燃費の改善によるガソリン代の節約、③二酸化炭素排出量の低減による環境保全活動の推進を目的に全職場で取り組みを実施した。

【コンテスト実施期間】

平成25年4月1日～6月30日

【実施方法（全社有車が対象）】

- ①各社有車の車両管理者がその車両1台ごとの主要運転者とチーム名を決める。
- ②比較対象とする平成25年1月～3月の平均燃費（直近の満タン日で比較）を自動車運転日誌から算出する。
- ③エントリーシートに必要事項を記入し、共通ファイル（フォルダ：エコドライブコンテスト）に登録し、担当部署の管理部管理企画・コンプライアンス課へ連絡する。（4月10日まで）
- ④毎月末に月間走行距離を一ヶ月の総給油量で割って燃費計算結果を共通ファイルに登録する。（翌月第5営業日まで）

【燃費集計結果の発表と表彰】

①中間結果として、月間の燃費改善率ランキングはデスクネットのインフォメーションにて発表（翌月中旬）。

②最終結果は7月の経営戦略会議にて報告し、成績優秀なチームを表彰し、金一封を贈呈。

チーム：1位（1万円）、 2位（5千円）、 3位（3千円）

燃費向上率が16%改善したチームはもれなく3千円

※平成22年度環境再生保全機構主催エコドライブコンテストでの平均燃費向上率15.92%

【エコドライブコンテストの結果】

1位 熊本工場「チーム くまもん」 改善率23.5%

2位 長崎支店「中西支店長とゆかいな仲間たち」 改善率22.7%

3位 東部支店福岡営業部「チーム福岡②」 改善率17.1%

4. 地域貢献活動

各部署の取り組みについて（6月）

①長崎工場 会社周辺の清掃実施（6月12日（水）8:15~9:30） 5名参加



②本社，東部支店 ラブアース・クリーンアップ2014への参加
6月16日（日） (25名参加)



③福岡工場

ラブアース・クリーンアップ2014への参加

6月16日(日)

(9名参加)



④大分工場

町内一斉清掃カントリー作戦への参加

6月16日(日) 7:30~ (13名参加)



各部署の取り組みについて(7月)

①山口営業部

市の自治会清掃活動への参加

7月7日(日) 8:00~10:00 (5名参加:山口営業部4名,福岡工場1名)



②本社、東部支店、福岡工場、J A畜産
7月10日(水)



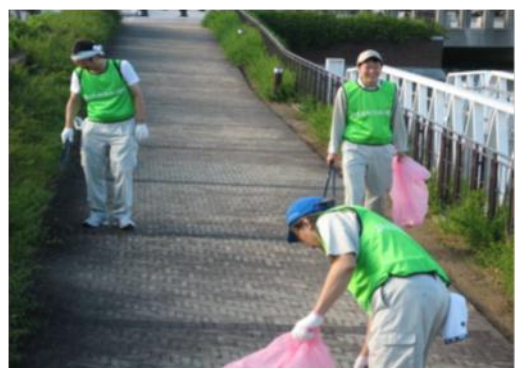
港の清掃デーへの参加
(18名参加)



③長崎工場 港湾部 佐世保港一斉清掃への参加
7月13日(土) 7:30~9:00 (10名参加)



④長崎支店 長崎市元船町~出島町 清掃実施
7月19日(金) (10名参加)



VIII. 環境保全取組の評価と次年度の取組目標

1. 環境保全取組の評価

環境活動項目	計画の内容	推進責任者	取組	
			結果・評価	継続取組内容
普及・啓蒙	環境保全推進ポスターの掲示	実行責任者	○	引き続き実施
エネルギーの削減	照明の個別スイッチ取付けによる不要照明のスイッチ OFF	各事業所	○	引き続き実施
	照明の昼休み消灯	保全担当者	○	引き続き実施
	空調の設定温度調整 (室温 28℃)	保全担当者	○	引き続き実施
	エコドライブコンテスト実施	管理部	○	4月～6月でコンテスト実施、引続きエコドライブ運転を推進
	営業車の燃費算出	各事業所	○	引き続き実施
廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別計量の実施	保全担当者	○	引き続き実施
	廃棄物のリサイクル推進	実行責任者	○	引き続き実施
	裏紙使用の推進	各事業所	△	引き続き実施
地域貢献活動	各部署の地域清掃活動への参加	各事業所	○	引き続き実施
省エネの取組み	電力ピークカット	各工場	○	25年6月～9月まで実施
	契約電力の見直し		○	25年6月までに実施済
	蒸気漏れの早期改善		△	引き続き実施

2. 廃棄物の計量実績

事務所からの廃棄物（平成 25 年 5～7 月分【累計】）

単位：kg

部 署	燃えるゴミ	燃えないゴミ	リサイクル可能ゴミ
本社・東部支店	830.33	16.82	453.52
福岡工場	414.92	0.00	418.00
長崎工場	959.15	0.00	354.22
熊本工場	1,154.13	0.00	285.73
大分工場	81.94	0.00	111.93
山口営業部	119.00	0.00	26.00
大分営業部	24.30	0.00	5.40
長崎支店	127.90	0.00	66.10
合 計	3,711.67	16.82	1,720.90

工場からの廃棄物（平成 25 年 5～7 月分【累計】）

単位：kg

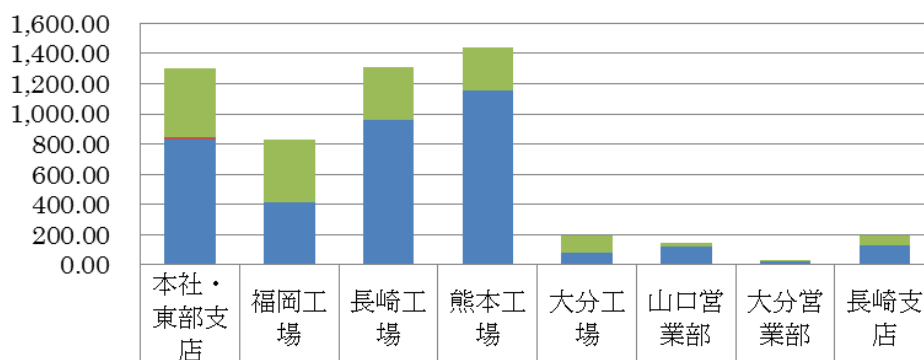
部 署	一般廃棄物	産業廃棄物	有価物
福岡工場	0.00	14,074.50	0.00
長崎工場	0.00	12,090.76	0.00
熊本工場	0.00	10,172.53	15,993.19
大分工場	0.00	2,229.60	7,300.00
合 計	0.00	38,567.39	23,293.19

その他の廃棄物（平成 25 年 5～7 月分【累計】）

単位：kg

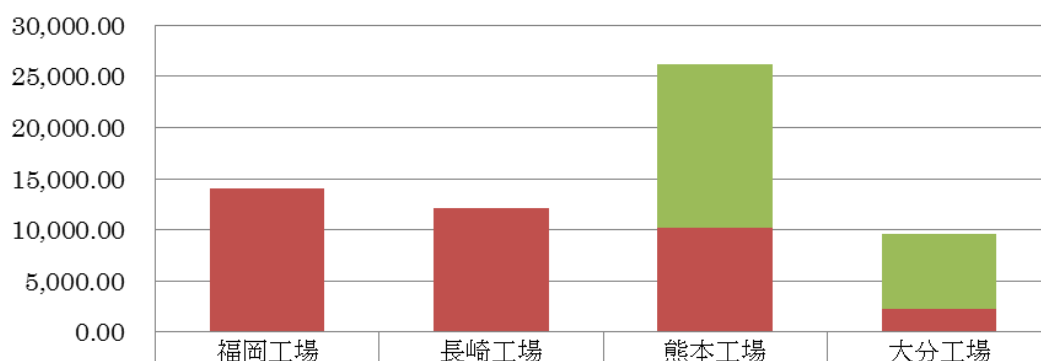
部 署	一般廃棄物	産業廃棄物	有価物
稲わらセンター	0.00	1,470.00	0.00

事務所からの廃棄物（5～7月）



■ リサイクル可能ゴミ	453.52	418.00	354.22	285.73	111.93	26.00	5.40	66.10
■ 燃えないゴミ	16.82	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
■ 燃えるゴミ	830.33	414.92	959.15	1,154.13	81.94	119.00	24.30	127.90

工場からの廃棄物（5～7月）



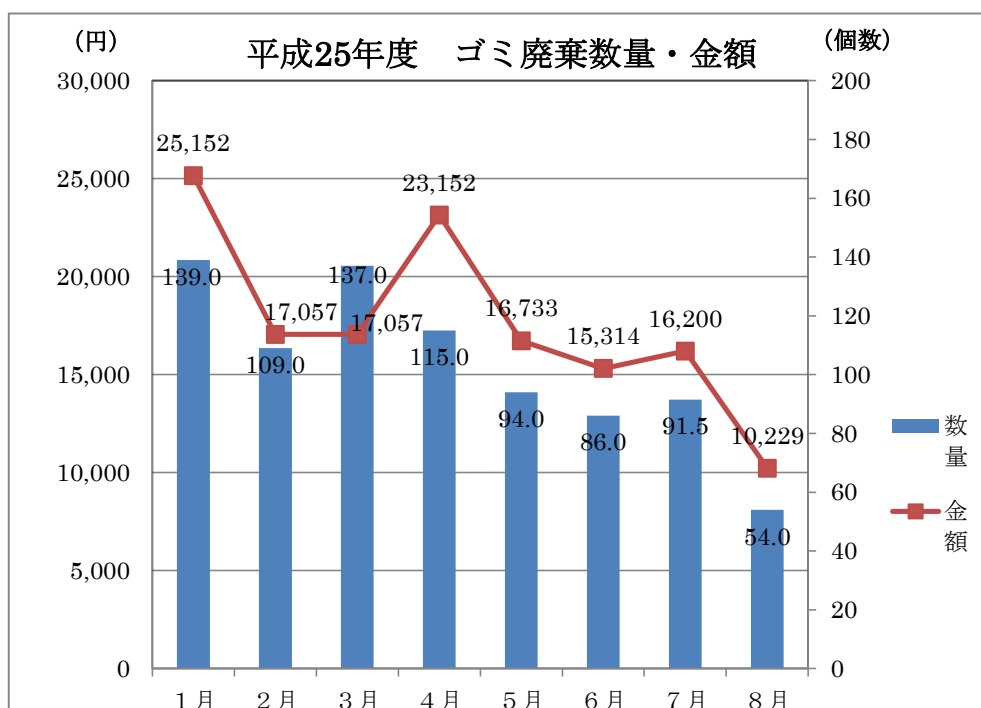
■ 有価物	0.00	0.00	15,993.19	7,300.00
■ 産業廃棄物	14,074.50	12,090.76	10,172.53	2,229.60
■ 一般廃棄物	0.00	0.00	0.00	0.00

本社ビル(本社・東部支店・JA畜産)のゴミ廃棄数量の推移

平成25年・ゴミ廃棄数量及び金額

単位：個数、円

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
数量	139.0	109.0	137.0	115.0	94.0	86.0	91.5	54.0
1回平均	6.0	4.5	5.3	4.4	3.5	3.4	3.4	2.1
金額	25,152	17,057	17,057	23,152	16,733	15,314	16,200	10,229



IX. 代表者による総合評価と見通し

1. 総合評価

コンパクトエコシステムの導入により、環境保全に対する社員一人ひとり意識が向上し、環境保全活動に積極的に取り組みました。

- ① エコドライブコンテストの実施により、燃費改善によるガソリン使用料の削減が図られた。
- ② 廃棄物の分別・計量の実施により、ゴミの削減および資源ゴミのリサイクル化が図られた。
- ③ 地域貢献活動に5月～7月の3ヶ月間で95名の社員が参加し、地域の環境保全に貢献した。

2. 今後の保全対策への方針

- ① 生産性向上に取組み、省力化・省エネ化に取り組めます。
- ② 廃棄物の分別を徹底し、資源ゴミのリサイクル率向上に取り組めます。
- ③ エコドライブ運転を継続し、燃費改善と安全運転に取り組めます。
- ④ 更なる意識向上を目指して、実行責任者及び保全担当者が中心となり社員間のコミュニケーションを活性化させます。

平成25年度の取組実績を踏まえ、平成25年度末に次年度の数値目標を設定します。

本レポートについてのご意見・お問い合わせ先

ジェイエイ北九州くみあい飼料 株式会社

(担当者名) 管理部 早川 至・坂口 孝明

(住所) 〒810-0071 福岡市中央区那の津5丁目3番1号

TEL : 092-738-0100

FAX : 092-738-0115

HP : <http://www.jakks.jp/>